

レーティッシュ鉄道・箱根登山鉄道姉妹提携30周年 グレッシャー・エクスプレス（氷河特急）塗色の 車両が走ります

箱根登山鉄道株式会社（本社・神奈川県小田原市、社長・和田雅邦）では、2009年6月にスイスのレーティッシュ鉄道と姉妹提携を結んで30周年を迎えます。この記念行事の一環として、2000形車両1編成をレーティッシュ鉄道で運行されているグレッシャー・エクスプレス（氷河特急）塗色に変更して営業運転を行ないます。

詳細については下記のとおりです。

記

1. 運行期間 2009年3月14日（土）から当分の間
2. 運転区間 箱根湯本～強羅間
点検等により入生田～箱根湯本間を回送する場合があります。
3. 車 両 2000形<サン・モリッツ号>
2005号・2203号・2006号の3両編成
4. その他 営業運転以外の具体的な用途については未定ですが、各種イベント等で使用する予定です
5. 塗色モデル（写真提供：スイス政府観光局）



姉妹提携の経緯

当社の箱根湯本から強羅間 8.9 km の路線は、大正 8 年（1919 年）6 月 1 日に営業を開始しました。この営業を始めるに当り、明治 45 年（1912 年）7 月に、当社の技師長半田貢を欧米に派遣し、スイスを中心とした山岳鉄道について研究した結果、サン・モリッツよりイタリア領ティラーノに至るベルニナ鉄道を範として建設しました。ベルニナ鉄道はその後レーティッシュ鉄道に合併し同社のベルニナ線となりました。この縁がきっかけとなり昭和 54 年（1979 年）6 月 1 日に同社と姉妹提携を結びました。

グレッシャー・エクスプレス（氷河特急）について（資料提供：スイス政府観光局）

ツェルマットとサン・モリッツというスイスを代表する山岳リゾートを結んで走る横断ルート。1930 年からの歴史を誇る伝統の絶景ルートです。7 つの谷、291 の橋、91 のトンネルを抜けて、291 キロを約 8 時間かけて走行。アルプスの名峰、美しい森や牧草地、山間の急流や渓谷など絶景の連続です。ベルニナ・エクスプレスと共通区間でもあるアルブラ線は、2008 年世界遺産に認定されました。今回の特別車両の塗装は、同ルートの 75 周年を記念して、2006 年に導入された新型のパノラマ車両をモデルにしています。

クールまたはダヴォス発着便もあります。

以上